

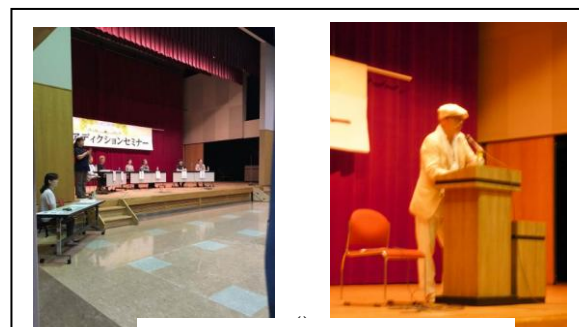
平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自分らしくいられる居場所づくり～信州アディクションセミナー
事業主体 (連絡先)	信州アディクションセミナー実行委員会 長野市桐原1-23-6
事業区分	(2)保健、医療、福祉に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	827,229円 (うち支援金: 525,000円)

事業内容

依存症やひきこもり、摂食障害、うつなど様々な問題に自ら解決しようと集まりミーティングや勉強会をしている自助グループの仲間が一堂に会し回復してきた経験と希望をわかちあうことを目的としたセミナー。

回復者の体験発表や回復のための心理療法やプログラムを行う専門家によるワークショップを体験する機会の提供、回復のための方法や場所につながる情報を掲載した資料集を配布することで安心・安全な社会とは・・・？、その作り方は・・・？をメッセージとして社会に発信する。



【多目的ホールにて】

【目標・ねらい】

- ①各地の仲間が一堂に会することで孤立していないと実感する
- ②回復のための方法の提案
- ③自助グループの活動を載せた資料集の作成・配布
- ④各地の自助グループの活動一覧表作成・配布
- ⑤以上を社会へのメッセージとして発信する

事業効果

- ①自分の居住区ではない自助グループに参加できる機会がもて、回復への勇気がわいた・・・との感想を聞いた。また、継続する苦労話から励まし合うやり取りに会場が一体になった。
- ②支援金を活用することでさまざまな心理療法やプログラムを行う専門家を複数招待し、そのワークショップに触れることができる機会を提案できた。
- ③まだ自助グループに参加していない人には、自助グループの場所と時間を、自助グループとはどういうものか知らない人には、依存症についての用語集や、イラストで分かりやすく記した。
- ④長野県下の自助グループの活動の場所、ミーティングを行う日時が一目でわかるようになった。
- ⑤一般の参加者も見受けられた。電話の問い合わせが多かった

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・今年、自助グループ以外の方への告知にも力を入れ昨年と同数の参加者にお集まりいただいた。
- ・医療機関や援助職の方の参加があり、会場での意見交換が活発にできた
- ・アンケートや会場の方々から、引き続きの開催を期待する声を聞く事ができ、セミナーの必要性を実感できた

今後の取り組み

- ・それぞれが独自に活動する自助グループであったが、このセミナー開催準備の為に知りあい、連絡をとれるようになった関係をこれからも続けられるようにお互いの活動への応援・連携を深めていきたい。それにより、自助グループの垣根を越えた情報が自助グループ以外の方へも広く伝わる機会とする。
- ・自助グループの活動のPRをするために、一覧表を長野県下のさまざまな場所に設置していただけるようお願いを続けていく。
- ・継続して自助グループを運営する人を応援できる活動やつながりを深めていく関係づくりをしていく。